

とっとり 県議会だより

11 No.019
Nov.
月議会

↓ 主な記事 Contents

代表質問	2p
一般質問	3~7p
お知らせ	7p
国際交流	8p
委員会活動	9p
議決結果	10~11p
決算審査特別委員会	12p

編集・発行…鳥取県議会
県議会広報紙…年4回発行
平成29年2月1日発行

「強風の日」濱津志織（鳥取聾学校撮影）

● 11月定例会の概要

11月定例会は11月25日、平井知事から総額39億9千万円の鳥取県一般会計補正予算や、本県における大麻等の栽培を認めない措置を講じるための「鳥取県薬物の濫用の防止に関する条例の一部改正」など25議案が提案されて開会した。

本会議では、代表質問は鳥取県議会自由民主党が、一般質問には26名の議員が登壇し、県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開した。

会期中、知事から、10月21日発生の鳥取県中部地震の観光風評被害対策のための追加の補正予算や、教育委員会委員等の人事案件など3議案が追加

提案された。

審議の結果、知事提出議案については、継続審査議案を含む30議案すべてを原案どおり可決、認定、承認、同意した。

議員提出議案については、議員報酬に関する条例の一部改正や、「鳥取県中部地震からの復旧・復興に係る特別な財政支援等を求める意見書」などの4議案を提案し、原案どおり可決した。

請願・陳情については、16歳未満の年少者に係るゲームセンターへの立ち入り制限の維持についての陳情1件が採択となったほか、6件を趣旨採択、1件を研究留保、5件を不採択と決し、12月19日に25日間の会期を閉じた。

代表質問

11月定例会では、浜田一哉議員(鳥取県議会自由民主党)が、県行財政上の諸問題について、会派を代表して質問を行いました。

鳥取県議会自由民主党

選挙区 境港市
浜田 一哉 議員



中部地震からの復興

問 被災者に支援物資が行き渡らなかったことや車上避難に対する支援、子どもや女性に配慮した避難所の運営、福祉避難所の受け入れ対応など熊本地震の教訓を生かした対応ができたのか伺う。

答 当初から、熊本地震の教訓を踏まえた対応を考えていた。支援物資の末端への手配、医療スタッフ等の巡回による避難者支援に当たった。今回の地震では「絶対に災害関連死は出さない」を合い言葉にアメニティーの改善も図った。福祉避難所の設置が進んでいないところは、今年度中に協定を結ぶなどにより指定ができる予定。来年度中には、今回の地震の反省も踏まえた対策を練り直し、地域防災計画を改定する。

来年度予算編成について

問 厳しい財政状況の中でも中部地震の復興対策をはじめ、地方創生の加速化や地域経済の活性化に向けた重点的な取組については、予算を集中投下する必要があるが、どのような取り組みを重点的に取り組んでいくよう考えているのか。

答 第1の重点は災害からの復興である。壊れたところを直すことと、これを機に新たなことにチャレンジするといったプラス思考の復興もある。あわせて地方創生や産業創造、安心の暮らしづくりについても十分な予算と施策を割いていく。

子どもの貧困対策について

問 貧困家庭に育った子どもは、学習や進学などの面で不利な環境に置かれ、大人になっても貧困から抜け出せない傾向があり、子どもの貧困問題への対応は喫緊の課題である。市町村等とも連携して行政側から積極的に働きかけるアウトリーチ型(※1)の支援をすべきではないか。

答 学習支援なども含めて実験的に取り組んでいるところやアウトリーチ型に関心を持った市町もある。

こども食堂や医療現場などの関係者と情報を共有しながら、アウトリーチ型を強めていけるようモデル事業について新年度で考えてみたい。

「境港」の整備について

問 境港への大型クルーズ船の寄港が急増する中、4年後に竹内南貨客船ターミナルが供用開始されると、米子・松江方面に向かう車で大渋滞を引き起こすことが予想される。境港からの物流強化、大型クルーズ船旅客の県内1日観光エリアの拡大、原子力災害時等の避難対応などの観点から、早期の道路整備が不可欠であるが、知事の所見を伺う。

答 鳥取県が持続的な発展を遂げるためにも、この周辺地域のインフラ整備が不可欠である。短期的な対策として、現在、竹内団地の臨港道路、国道431号との交差点付近の交通ネットワークの円滑化の基礎調査をしている。また、米子-境港間の南北の交通量が非常に多く、アクセス強化、物流、観光の効率化のためにも境港と米子を結ぶ高規格道路は非常に重要なものと認識している。地元合意のもと、道路の必要性、妥当性を具体的に訴えかけて、計画の凍結解除をしていくことが必要である。

次世代授業の取組について

問 本県では、次期学習指導要領を先取りする形で、アクティブ・ラーニング(※2)の導入を積極的に推進している。教える側の力量が求められ、教師の負担が大きく準備も含めて授業にたくさん時間がかかるといった意見もあるが、課題や解決に向けた今後の対応方針について伺う。

答 (教育長) アクティブ・ラーニングをより効果的に実施するために、タブレット型の端末などICT機器の活用も必要であると思っている。また、特別な支援を必要とする生徒に対する指導方法など、幅広い手法の研究をしていく必要がある。本年度から教職員にも参画してもらいながら、21世紀型の学力検討委員会を設置し、この中でアクティブ・ラーニングの研究ワーキンググループもつづけている。また、指導案や校内の研修計画等のモデルを作成したり、教員間のネットワークを構築する手法などを検討して実施に移していくなど、授業の考え方、手法を着実に全ての教職員に広げていきたいと考えている。

※1 アウトリーチ型 … 援助が必要であるにもかかわらず、自発的に申し出をしない人々に対して公共機関などが積極的に働きかけて支援の実現をめざすこと。

※2 アクティブ・ラーニング … 授業者が一方向的に学生に知識伝達をする講義スタイルではなく、学生の能動的な学習を取り込んだ授業の総称。

一般質問

11月定例会では、26人の議員が一般質問を行いました。

本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

中部地震への対応 手話革命と法制定



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 ①中部地震の緊急要望への対応は②聴覚障がい者への災害情報の提供を③手話革命の意味は、どのような施策を進めるか④デフリンピック(※1)招致を。

答 ①相談窓口開設。貸店舗営業者は経営革新制度スタート型で対応②聴覚障害者センターとコンタクトをとれる体制を作る③全国に向けてパラダイムシフト(※2)を起こす。災害時の課題など、新年度予算や今後の計画に入れる。あいサポート条例の中に情報共有等の課題を取り上げる④あり方を検討する。

「郷土の先人」に 学ぶことの意義



前田 八壽彦 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 郷土の先人の功績を県民の皆さんに広く知っていただく仕掛けが不十分。取組の検討を。

答 郷土の先人で顕彰に値する皆さんの業績に触れることは、若い人をはじめ、いろんな方々に影響を与え得ると思う。(教育長)先人の業績や生き方を発信していくことは、鳥取県や鳥取県民の素晴らしさを再認識し、地域の個性、誇り、魅力の強化に重要。人物史的な展開や資料の収集は、従来行っていない。今後の博物館構想のなかでその充実や展開を検討したい。

障がい者スポーツ の振興について



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 鳥取県障がい者福祉プランには精神障がい者のスポーツ振興に触れていないがどのように取り組むのか。障がい者スポーツを振興するために体系的、継続的な計画を策定すべき。

答 スポーツは精神障がい者にとっても自らの才能を発揮できる場であり、県としても支援していきたい。来年度日本財団と協調して始める障がい者スポーツの拠点施設建設に入ることもあり、障がい者スポーツについての一貫した振興計画を策定する。

ツキノワグマ対策 について



福田 俊史 議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

問 近年、全国で熊が人里に出没し、人を襲う被害が相次いでおり、わが県でも目撃情報や負傷事故が多発している。熊の被害に対する知事の現状認識と隣県が熊を解禁していく中でのが鳥取県の対応策を問う。

答 私も大変に憂慮しており、看過できない状況だと思っている。鳥獣保護管理計画の改定時期に入っており、今後どういう方針にするかを専門家や地元関係者を交えて議論することになるので、踏み込んだ議論をお願いしたいと考えている。

防災対策、 財政運営について



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①今回の中部地震に対しての行政対応の反省点は。②今後の県財政運営の考え方は。

答 ①ブルーシート備蓄数の不足が顕在化した。一部損壊の戸数も含めた備蓄数の再考が必要であり、地域防災計画の見直しに反映させたい。災害時の通信体制について、LINEなどSNSを活用した災害時用プラットフォーム作成など検討したい。②引き続き、財政健全化も図りながら、社会的インフラなど、必要なものにはしっかりと投資を行っていく。

※1 デフリンピック…世界規模で行われる聴覚障がい者のための総合スポーツ競技大会。夏と冬それぞれ4年に1度開催される。
※2 パラダイムシフト…その時代や分野において当然のことと考えられていた認識や思想、社会全体の価値観などが革命的にもしくは劇的に変化すること。

震災復興に向けた 諸課題の解決を



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市
会派 民進党

問 宅地の擁壁が被害を受け、家屋を取り壊さざるを得なかった場合、全壊の扱いが必要だ。②半壊の場合、住宅補修だけでなく新築、購入にも補助金支給を。③宅地の擁壁、石垣の補修にも、補助金を支給すべき。

答 ①宅地の状況により取り壊さざるを得なかった場合、全壊扱いとする可能性はある。②半壊の場合の住宅新築、購入費補助は、考慮の余地がある。③擁壁、石垣補修の補助金は、市町が対応するのであれば、県としても応分のお付き合いをする。

震災の復興支援を 障がい者の支援を



横山 隆義 議員

選挙区 東伯郡
会派 希望(のぞみ)

問 ①1日も早い復旧、復興支援とともに介護や介助が必要な方の避難について検証と更なる対応を②障がい者へのきめ細かい就労支援が必要ではないか。

答 ①いろいろ課題もあるが、さらに安心して過ごせる防災対策を目指したい②障がい者就業・生活支援センターをコアとし、ジョブコーチやアドバイザーの活用を図る。就労訓練を行うオフィス型ジョブトレーニングセンターが西部に開設された。今後その状況をみて成果を全県的に広げていきたい。

鳥取県中部地震から の復興について



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市
会派 希望(のぞみ)

問 地震からの復興をさらなる活性化の契機とすべきだと思うが、復興の目標や期限、コミュニティや市町との連携、官民一体の推進体制の構築についてどう考えているのか？

答 新年度は復興元年として復旧に大方片をつけ、復興に向けての基本的な道筋をつけることが目標。トットリズム推進運動、鳥取県民活動活性化センターの活用、中部地震の復興会議の設置など、県も応分の役割を担いながら官民連携で復興を進めたい。

規制改革で活性化 健康寿命の延伸



西川 憲雄 議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

問 ①訪日観光客の増のように、規制を撤廃すれば大きな成果が生まれる。本県でも今以上に規制改革で活性化が図れないか。気づかない規制があるのではないか。②健康寿命延伸の取組みについて現在の検討状況は。

答 ①国の規制改革推進会議の鳥取県版を作り、企業や市町村の意見を聞く受け皿をつくる必要があると思う。②「まちの保健室」事業等取り組んでいるが、みんなで健康づくりをしようというようなモデル事業を当初予算に向けて検討する。

県内に夜間中学の 設置を



澤 紀男 議員

選挙区 米子市
会派 公明党

問 文部科学省は各都道府県に1校以上の夜間中学の設置を目指している。さまざまな理由で義務教育を修了できなかった人達のほか、外国人や中学の形式卒業者も受け入れるようにしている。県内でも潜在的なニーズがあると思う。現状を調査・把握し夜間中学を視察・研究する必要があると思うが所見は。

答 (教育長) 夜間中学のニーズの把握の方法や運営実態を研究する。調査の結果等については市町村、知事部局とも十分に情報共有しながら進めていく。

ICT活用推進と ロコモ予防強化を



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 ①「第4次産業革命」に呼応する商品やサービス開発に向け消費者の視点を取り入れた協議会設置を②医療・介護費の抑制に向けロコモ(※)予防強化と5年先に各町内の集会所で体操教室の開催を目標に、関係者による協議の場を。

答 ①消費者の視点など幅広い方に入って頂き夢を実現するビジネスマッチングを図りたい。②ぜひモデル事業を上手く作り専門家も加えて在り方を検討し何年か先には体操教室を行うなど我々も追求していきたい。

※ロコモ…運動器症候群:ロコモティブシンドロームの略。運動器(骨や関節、筋肉など)の障がいにより要介護になるリスクの高い状態になること。

中部地震支援策と 新美術館建設調査



長谷川 稔 議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

問 ①罹災証明の一次・二次調査の取扱いは②損害判定基準が1%以下でも支援金の対象とすべき③先般の美術館アンケートの結果に対する評価を問う。

答 ①一次判定は概算、二次判定で精査する仕組み。一次より二次の方が低くなることもあるが二次の結果が損傷の程度となる②今回は全ての被災者に適用③(教育長)建設場所以外については大方の県民の合意が得られたと理解。今後、県民の皆様の考えを踏まえ、最適な建設場所を基本構想検討委員会が選定する。

クマ被害対策 グローバル人材育成



広谷 直樹 議員

選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

問 ①ツキノワグマによる被害が相次いでいる。他県と連携し広域的に個体数管理を検討する時期では②クマの生息環境整備のため実なる広葉樹の植栽を③高校生の海外経験を促すため海外修学旅行へ費用補助を。

答 ①地域住民、自然保護団体、猟友会、他府県などと検討する。②緩衝帯の森を作ることで人間と獣の分離を図る。③(教育長)パスポートや貸し切りバス経費を支援している。海外での体験は有効であり、費用補助については学校現場と意見交換をしたい。

障がい者の工賃 アップに向けて



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 県の工賃3倍計画のもと、障がい者の工賃は、平成26年度までは順調に伸びてきたことは大いに評価する。一方で、平成27年度、初めて下振れをしてしまい、限界が見えてきていると考える。これまでの政策を一步越えた政策に踏み出すべき時期が来ていると考えるが所見は。

答 無論のこと、工賃の総額を上げていき、どんどん障がい者の方が生きがいを持って働く場ができる、そういう環境づくりをしたいと思う。

中山間地域振興を 強力に推進!!



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 平成28年山間集落实態調査結果で、人口減少、高齢化がより進んでいる。今後の中山間地域に対する県の取り組みが重要。県の行動指針の目標に「小さな拠点」づくりがある。どのように事業を進めるのか問う。

答 道の駅の周りに様々な施設を集積するコンパクトビレッジのような形や、移動販売車を配置する巡回型によるタイプがある。小さな拠点は、プランによりいろいろとバリエーションがあるので、一つ一つ丁寧に支援、サポートしていく。

地域循環型経済の 到達点について



木村 和久 議員

選挙区 鳥取市
会派 民進党

問 インバウンド(※)市場も地域間競争がある。日本の原風景・文化・技術の濃度が求められ、その数や質の高さ、感動の大きさが次の市場獲得につながる。目標を100とした場合、現状は。

答 10年ほど前と比べれば、海外からの目が向けられるようになり大きく変わった。ただ、足らざるものがまだいっぱいある。そういう意味から、6割、7割ぐらい達成した程度。観光地としての貪欲さ、伸びようとする力、それが本質的にまだ必要なのではないかとと思う。

まちなかの支え愛と スポーツ振興



浜崎 晋一 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①まちなかの支え愛体制の再構築に向けて、今回の地震の倉吉の状況も踏まえ、まちなか生活実態調査を実施すべきではないか。②東京オリンピック・パラリンピックに向けた選手育成の戦略を問う。

答 ①最近のまちなかの活性化や今回の地震で顕在化した支え愛の重要性も踏まえ、調査を実施したい。②従来の強化選手に加え、セーリングなど新たな選手も含め、強化の拡充に取り組む。クライミング施設など新たな競技環境も整えたい。

※インバウンド…外国人が訪れてくる旅行のこと。

鳥取港（賀露港） の駐車場整備



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 鳥取砂丘は現在、入込客数が年間130万人を超えるが、鳥取港西地域も鳥取砂丘に匹敵する地域になろうとしている。今後、鳥取空港整備強化、空港と鳥取港を結ぶ県道建設など、さらなる入込客の増加が大いに期待できる。不足している駐車場整備が必要なハード整備と考えるが、知事の考えを伺う。

答 解決すべき課題は地元で協議していただき、方針を固めていただければ、県も応分の協力をしていきたい。

住宅再建支援制度 一呼吸置いて協議



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会派 民進党

問 被災者住宅再建支援制度。20億円の基金と運用益から取り崩し額を引くと9億5千万円余り。今後も基金の目標額を20億円とするのか。増額を検討するのか。基金の積み立ての開始はいつからするのか。

答 まだ災害が落ち着いておらず、基金の取り崩し額もはっきりしない。被災した市町に基金を積み立てる余力があるかどうかも疑問。一呼吸置いて、来年度中に今後の方針を決めたい。基金に係る協議会を招集し、市長、町長、県で話し合いたい。

TPP強行の所感 在宅育児支援



錦織 陽子 議員

選挙区 米子市
会派 共産党

問 ①TPP強行は道理がない。所感を②保育のあり方研究会は在宅育児世帯に支援を検討。現金給付、現物給付、保育サービスから選択、支給は1歳まで。育児相談や育児の孤立化を防ぐ支援が必要で現金給付先行は問題では③1歳まで実施の理由は。

答 ①通常の協定では格段に長い審議。国会の議論として評価されるべき②アンケートで6割賛成。現金給付だけでない緩やかな制度。市町村が取り組むのがふさわしい③民間の育児休業の期間は子どもが1歳まで。

中部地震、奨学金、 米軍機飛行訓練



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 共産党

問 ①西部地震の修繕費助成最大100万に比べ今回30万は少ない。増額を。②住家被害1次、2次調査は被害率高い方を採り多く支援金を③被災家屋解体や農作業場支援④応急修理57.6万支援の周知⑤一部損壊も県住入居や保険料減免に⑥鳥大も保育士就学資金対象に⑦岩国基地オスプレイやF18・F35戦闘機配備で激化する低空飛行訓練中止

答 ①しない②判断は市町村③国制度活用が可能④周知する⑤しない⑥県外大学含め未来人材育成基金で検討⑦強く要望する。

自然環境保全、 難病患者等への配慮



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市
会派 民進党

問 ①専門家でも困難な大山横手道にブナを育成する会の25年に及ぶ活動への支援を②生物多様性地域戦略策定への県の取組状況は③難病など外見上判りにくい人達のヘルプマークの検討を。相談員も増やすべき④県庁に月80時間以上の超勤者99名がいる。命の問題だ。働き方文化を県庁からつくるべき。

答 ①今後も支援を続けたい②来年の夏頃にまとめたい③あいサポート条例で検討。体制強化は現場と話したい④実務も点検し率先垂範モデルをつくりたい。

林業の振興について



内田 博長 議員

選挙区 日野郡
会派 自由民主党

問 ①林業における効率的で低コストな施業をする手法として森林レーザー航測事業の導入が必要ではないか。②炭素税を財源とした全国版森林環境税(仮称)創設を、全国知事会でも推進していただきたい。

答 ①地方財政措置の中でレーザー航測の参入の仕組みもある。財政負担を軽減しながらの導入について検討したい。②市町村など関係先と協議したり、知事会としての考え方をまとめる必要があるが、全国知事会で主張していきたい。

インフラ整備とまちづくりのあり方



野坂 道明 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 ①成長戦略や財政運営の観点から、空港や水力発電等公共施設のコンセッション方式(※1)に取り組むべき②公共施設マネジメントの観点から、県及び市町村の公共施設の整理統合に関する調査と議論の場を設置し、シェアリングエコノミー(※2)も含めPFIの棚卸作業をすべき。

答 ①空港は至急検討する必要があり関係者と早急に協議をする。水力発電事業も検討の俎上に乗せる②早いタイミングで自治体関係者や知見を持つ方も含め協議の場を作りたい。

境港客船ターミナル工事費各県負担



森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 民進党

問 総工費は93億円、内43億円は国、残る50億円については、鳥取県内に作ることから、鳥取・島根の申合せで丸々鳥取県負担となっている。これが完成すれば、島根にも益々多くの客が訪れることになる。負担割合を島根と話し合うべきだ。

答 従来のやり方が通用しない時期に入ってきているのかなとも思う。いいものを造ろうとすればお金もかかる。負担関係について柔軟に考えていこうという議論はあり得る。島根側に誠実にこの議論を伝えたい。

自治体病院の必要性と維持継続



福間 裕隆 議員

選挙区 西伯郡
会派 民進党

問 ①2025年には団塊の世代が75歳以上となり超高齢化社会を迎える。このような中、自治体病院の経営にとって重要なガイドラインが国から示されたが、2025年対応についての知事の見解は。②自治体病院では医師、看護師、薬剤師の不足が大きな問題。対応策は。

答 ①各自治体病院の実情を伺い、言うべきことがあれば連帯して国に要求したい。②人材の確保は地域医療構想等でも求められている。その実現を図る現実の方策をつくっていく。

会派正式名称

- 【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
- 【民進党】会派民進党
- 【公明党】公明党鳥取県議会議員団
- 【希望(のぞみ)】鳥取県議会会派希望のぞみ
- 【共産党】日本共産党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁を含む）。教育長は知事の部局ではないため別に表記した。

お知らせ

県議会を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。

暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

ネットでもご覧になれます

本会議、常任委員会、全員協議会はインターネット(<http://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>)で生中継と録画中継をしています。本会議はケーブルテレビでも放送しています。

※ ご不明な点はお気軽に県議会事務局総務課(☎0857-26-7460)へお問い合わせ下さい。

2月定例会の日程案

期 日	日 程
2月22日(水)	本 会 議(開会・提案理由説明)
23日(木)	常任委員会
24日(金)	
28日(火)	本 会 議(代表質問)
3月 2日(木)	
6日(月)	本会議(先議議案質疑)・常任委員会
7日(火)	本会議(先議議案採決、一般質問・質疑)
8日(水)	
10日(金)	
13日(月)	本 会 議(一般質問・質疑)
15日(水)	
16日(木)	
21日(火)	常任委員会
22日(水)	特別委員会
23日(木)	本 会 議(採決・閉会)

※日程は変更の可能性があります。

※1 コンセッション方式…高速道路、空港、上下水道などの料金徴収を伴う公共施設などについて、施設の所有権を公的機関に残したまま、運営を特別目的会社として設立される民間事業者が行う方式。

※2 シェアリングエコノミー…共有経済。共有の社会関係によって統御される経済。

ロシア沿海地方知事 鳥取県議会で演説

11月25日、ロシア沿海地方のミクルシェフスキー・ウラジーミル知事が、鳥取県議会議場で演説を行った。

ミクルシェフスキー知事は、ロシア沿海地方と鳥取県の友好交流25周年の記念事業出席のため来県。11月定例会の開会にあたり、議場で演説いただくこととなった。

外国の知事が議場で演説するのは、平成16年に韓国江原道の金^{キム}振旻^{ジンソン}知事以来12年ぶり。

ミクルシェフスキー知事は、鳥取県中部地震の被災者に見舞いの言葉を送られるとともに、「真の友人は、嬉しい時よりも困難な時にこそわかる」というロシアのことわざを引用し、沿海地方が8月の台風で被災した際に鳥取県から届いた励ましに感謝の意を示された。

また、沿海地方の住民の間で鳥取県の観光地や文化などへの関心が高まっているとして、従来の交流関係を維持し、観光・経済分野での関係拡大の必要性を訴えられ、DBSフェリー、鳥取ウラジオストクチャーター便、企業家同士の協力等を促進することが大事、お互いの地域住民のためにこれからも協力して経済・文化の共同プロジェクトの実施を期待すると述べられた。



国際交流と海外調査

鳥取県議会では、友好提携している諸地域との地方間の国際交流に力を入れている。

7月23日にブラジルサンパウロ州において、第2アリアンサ鳥取村入植90周年記念式典が開催され、藤縄副議長を団長に、森議員、福田議員の3名が参加した。

第2アリアンサ鳥取村では、1994年から現在まで、同地の日本語学校に本県の教員を派遣し、日本語指導や文化等の伝達に尽くしている。生徒たちの日本語能力は非常に高く、今後も継続した教員派遣の必要性を強く感じた。また、ブラジル鳥取県人会の皆さんとの意見交換を行い、次世代の交流を担う新しい人材の育成が最重要課題であることを痛感した。



10月17日から20日まで台湾へ上村議員を団長に、6名の議員を派遣した。

観光誘客に係る現地動向と課題、地域間・学校間交流の現状や今後の可能性を探るとともに、防災の取組などについて調査を行った。

訪問先のうち、台中市温泉観光協会では、三朝温泉旅館協同組合と「温泉交流促進に関する覚書」を結んでおり、相互訪問も行われている。今後、様々なレベルでの交流が広がっていくことが期待されるものであった。

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



11月定例会では、本委員会所管の鳥取県中部地震関連をはじめとした28年度補正予算などの8件の議案

について、慎重審議の結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

併せて請願・陳情の審査を行い、災害時に十分な給食を提供できるよう民間や市町村同士で協定を結ぶよう求める陳情は趣旨採択、議員の海外視察の旅費を自己負担するよう条例改正を求める請願は不採択、県立高等学校の数の維持と学級定員の引下げを求める継続の陳情は、趣旨採択と決定した。

また、地域に出向き広く県民の意見を聞く「出前県議会」として、地方創生の主要施策である生涯活躍のまち(CCRC)の取組について南部町において意見交換を行った。また、県内調査として、県立美術館の検討の参考とするため、米子市美術館、島根県立美術館、足立美術館を調査した。

福祉生活病院常任委員会



11月定例会では、本委員会所管の平成28年度一般会計補正予算をはじめとした9件の議案について、慎重に

審議を行った結果、いずれも原案どおり可決または承認すべきものと決定した。

付議案の主なものとしては、10月21日に発生した県中部地震により被災した世帯の住宅再建及び住宅修繕を支援するもの、県内において大麻栽培の免許を受けた者の免許を取り消す事件が発生したことから、県内における大麻草の栽培を認めないものとする県条例の改正があった。

また、新規の請願1件、陳情4件並びに継続分の陳情1件を審査した。このうち、保育士・学童保育指導員等の処遇改善を求める陳情は、願意の聞き取りを行い、慎重に審査を行った結果、市町村や保育関係者の意見を確認する必要があること等から、研究のため留保と決定した。

農林水産商工常任委員会



11月定例会では、本委員会所管の平成28年度鳥取県一般会計補正予算などの7議案を慎重に審議し、いずれも原案のとおり

可決及び承認すべきものと決定した。

補正予算の主な事業は、鳥取県中部地震により被災した中小・小規模事業者の施設・設備の原状回復を支援する事業、同じく鳥取県中部地震により被災した農業協同組合等が所有する共同利用施設の復旧を支援する事業などがあつた。

併せて、新規の陳情1件の審査を行い、鳥取県中部地震を受けた防災体制の強化(農家支援関係)については趣旨採択と決定した。

また、11月に開催した出前県議会では、八頭中央森林組合、若桜木材協同組合、山陰丸和林業株式会社、鳥取市、若桜町、八頭町と、県産材の安定供給体制の構築等について意見交換を行った。

地域振興県土警察常任委員会



11月定例会では、平成28年度鳥取県一般会計補正予算などの8議案について慎重に審議を行い、その結果、いずれの議案も妥

当なもの認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

陳情については、新規分1件、継続分2件について慎重に審査を行い、このうち鳥取県中部地震を受けた防災体制の強化(物資・避難所関係)については趣旨採択と決定した。

また、11月9日に大山町内において「出前県議会」を開催し「大山開山1300年祭に向けた取組について」をテーマに県西部の市町村や関係団体から多様な意見を聴取した。11月22日には、岡山市内で「鳥取・岡山両県議会土木関係常任委員会合同会議」が開催された。両県を結ぶ道路網の整備状況等について協議、意見交換を行い、その結果を踏まえて国等に要望書を提出することとした。

平成28年11月定例会付議案等議決結果(賛否が分かれた議案及び否決された議案)

議案等番号	件名	自由民主党							
		稲田 寿久	上村 忠史	内田 隆嗣	内田 博長	島谷 龍司	中島 規夫	西川 憲雄	
9月定例会 ⑬	平成27年度鳥取県営病院事業会計資本剰余金の処分及び平成27年度鳥取県営病院事業決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	
⑩	鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	
⑳	平成27年度決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	
㉓	職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	
❶	鳥取県議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び鳥取県議会議員の議員報酬及び期末手当の額の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
❸	森林吸収源対策の財源確保、公的森林整備の充実及び公有林化の促進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	
議案等番号	件名	委員長報告							
請願28年-37	消費生活センターのメール相談に対する回答について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
請願28年-38	鳥取県議会議員の海外視察の旅費に係る条例等の改正について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情27年-12	県立高等学校の数の維持と学級定員の引下げを求めることについて	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-10	16歳未満の年少者のゲームセンターへの保護者同伴立入規制の緩和について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-19	理容所への洗髪設備の設置に係る理容師法施行条例の改正について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-23	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例における現行の16歳未満の年少者に係るゲームセンターへの立ち入り制限の維持について	採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-27	中部消費生活センターにおける月曜日等の来所相談の開始について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-29	鳥取県中部地震を受けた防災体制の強化(物資・避難所関係)について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-30	鳥取県中部地震を受けた防災体制の強化(住宅支援関係)について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-31	鳥取県中部地震を受けた防災体制の強化(農家支援関係)について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-32	鳥取県中部地震を受けた防災体制の強化(学校給食関係)について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-33	鳥取県消費生活センターの公営化及び国に対し消費生活センターのあり方の検討を求める意見書を提出することについて	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情28年-36	健康で安心して働き続けられるために保育士・学童保育指導員等の処遇を改善することについて	研究留保	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案

賛否欄…[○]賛成、[×]反対、[議]議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

平成28年11月定例会付議案等議決結果(全会一致で議決された議案)

議案等番号	件名	議決結果
9月定例会 ⑮	平成27年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び平成27年度鳥取県営企業決算の認定について	可決及び認定
	決算認定に係る指摘事項 [9月定例会15号、9月定例会16号、21号]	承認
①	平成28年度鳥取県一般会計補正予算(鳥取県中部地震緊急対応関係)	可決
②	平成28年度鳥取県一般会計補正予算	可決
③	平成28年度鳥取県県営境港水産施設事業特別会計補正予算	可決
④	平成28年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算	可決
⑤	平成28年度鳥取県営電気事業会計補正予算	可決
⑥	平成28年度鳥取県営病院事業会計補正予算	可決
⑦	鳥取県における歴史資料として重要な公文書等の保存等に関する条例の設定について	可決
⑧	鳥取県控除対象特定非営利活動法人の指定手続等に関する条例の一部改正について	可決
⑨	鳥取県特別医療費助成条例の一部改正について	可決
⑪	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例及び鳥取県警察署協議会条例の一部改正について	可決
⑫	鳥取県警察手数料条例の一部改正について	可決
⑬	貸付金の返還に係る債務の免除に関する条例の一部改正について	可決
⑭	鳥取県手数料徴収条例の一部改正について	可決

● 平成27年度決算を認定

決算審査特別委員会は、12月16日、「平成27年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び平成27年度鳥取県営企業決算の認定について」「平成27年度鳥取県営病院事業会計資本剰余金の処分及び平成27年度鳥取県営病院事業決算の認定について」「平成27年度決算の認定について」の3議案を賛成多数で可決または認定。19日の本会議でも可決または認定された。

県議会では、適正な予算の執行と編成のために、決算審査の充実に取り組んでいる。同特別委員会を通年設置し、総務教育、福祉生活、農林水産商

工、地域振興県土警察、県営企業、病院事業の6分科会を設け、効率的かつ詳細な審査を目指しているほか、新年度予算に審査結果を反映させるため、11月定例会で決算認定を議決している。

決算関係の3議案は、9月定例会から審査を開始。各分科会ごとに書類審査、執行部所管課から詳細な説明の聞き取り、質疑、現地調査などを重ね、最後は委員全員で議論した。

その結果、文書指摘10件、口頭指摘11件をしたうえで、可決または認定が妥当と決した。

同委員会は2月定例会で、指摘事項を予算にどう反映したか、知事ら執行部から説明を求め、決算と予算の審査を一体化することで、より適正な予算編成を実現するよう努力したいとしている。



● 文書指摘の概要

(1) 競技力向上対策 委託事業の実施状況を適切に把握するとともに、受託者と協働し、関係部局と積極的に連携を図るべき。また、地域をまきこむなど戦略性をもって取り組むべき。

(2) 盲ろう者意思疎通支援事業 「鳥取県盲ろう者支援センター」に複数名の相談員の配置が必要。盲ろう者が日常生活に必要な手話、点字、歩行訓練などの支援も検討すべき。

(3) 地域包括ケアシステム「地域包括ケア推進事業」 市町村に対する支援体制の強化を検討すべき。また、新しい総合事業では、実態を把握した上で、必要な支援を行うことを検討すべき。

(4) エネルギーシフトの取組 本県の地域特性を踏まえ、太陽光発電以外の多様な再生エネルギーの導入も促進するとともに、エネルギーの地産地消に向けた取組を強化すべき。

(5) 企業立地事業補助金 条例に定められている事業継続期間中は、経営状況を把握すべき。また、必要に応じて、事業継続のために適切な支援策を検討、実施すべき。

(6) 産業人材育成センターにおける人材育成 対人関係能力を向上させるため、カリキュラム編成等に工夫を凝らすべき。生徒への家賃助成を倉吉校でも実施し、遠距離通学者に配慮すべき。

(7) 園芸試験場圃場管理 次世代を担う人材を確保しつつ、退職する農業技手の持つ高度な技術の伝承を図るなど、しっかりとした体制づくりを検討すべき。

(8) 県立病院における未収金対策 回収可能性の審査を組織として行う仕組みを整備する必要がある。また、計画的回収債権以外の債権への分類や不能欠損等を視野に入れた取組を検討すべき。

(9) 多様化する学校問題への対応 学校問題解決支援事業について、市町村立学校への周知徹底が必要。スクールソーシャルワーカーの一定の待遇を確保するよう必要な財政支援等を検討すべき。教員が児童生徒に向き合う時間の確保に向けた環境を整備すべき。

(10) 信号制御機の更新 更新基準を超える信号制御機の割合を減少させるよう、計画性を持った更新が必要。また、信号機数の適正化についても地域住民の理解を得ながら併せて取り組むべき。